

著者紹介（執筆順，＊は編著者。①所属，②主要論文・著書）

＊池田 太臣（いけだ たいしん）

第1章 [共]・第2章

①甲南女子大学人間科学部教授

②『ホブズから「支配の社会学」へ——ホブズ、ウェーバー、パーソンズにおける秩序の理論』世界思想社，2009年

『「女子」の時代！』（共編著）青弓社，2012年

『ポスト〈カワイイ〉の文化社会学——女子たちの「新たな楽しみ」を探る』（共編著）ミネルヴァ書房，2017年

＊木村 至聖（きむら しせい）

第1章 [共]・第4章・第6章

①甲南女子大学人間科学部准教授

②『産業遺産の記憶と表象——「軍艦島」をめぐるポリティクス』京都大学学術出版会，2014年（地域社会学会奨励賞）

『消費社会論（J. ボードリヤール）』『映画は社会学する』法律文化社，2016年

『〈廃墟〉を触発するメディア——〈廃墟〉が生成するネットワーク』『ポスト情報メディア論』ナカニシヤ出版，2018年

＊小島 伸之（こじま のぶゆき）

第1章 [共]・第8章

①上越教育大学人文・社会教育学系教授

②「近代日本の政教関係と宗教の社会参加」『アジアの社会参加仏教——政教関係の視座から』北海道大学出版会，2015年

『近現代日本の宗教変動——実証的宗教社会学の視座から』（共編著）ハーベスト社，2016年

『「国家神道」と特別高等警察』『昭和前期の神道と社会』弘文堂，2016年

レナト・リベラ・ルスカ（Renato Rivera Rusca）

第3章

①岡山県立大学共通教育部特任講師

②「宇宙エレベーターは文化的アイデンティティから人類を解放する」『宇宙エレベーターの本——実現したら未来はこうなる』アスペクト，2014年

“The Changing Role of Manga and Anime Magazines in the Japanese Animation Industry,” *Manga Vision: Cultural and Communicative Perspectives*, Monash University Publishing, 2016

“Phoenix 2772: A 1980 Turning Point for Tezuka and Anime,” *Mechademia 8: Tezuka's Manga Life*, University of Minnesota Press, 2013

荒木 菜穂（あらき なほ）

第5章

①関西大学ほか非常勤講師

- ②「日本の草の根フェミニズムにおける『平場の組織論』と女性間の差異の調整」『架橋するフェミニズム歴史・性・暴力』松香堂書店、2018年
「女子の日常とロックのアンビバレントな関係」『ポスト〈カワイイ〉の文化社会学——女子たちの「新たな楽しみ」を探る』ミネルヴァ書房、2017年
「ぶつかりあい、調整しあう、女性学的実践——オンナが関係し合う場としての『女性学年報』」『女性学年報』（34）、2012年

菅 浩二（すが こうじ）

第7章

①國學院大学神道文化学部教授

- ②『日本統治下の海外神社——朝鮮神宮・台湾神社と祭神』弘文堂、2004年
「国家による戦没者慰霊」という問題設定」『招魂と慰霊の系譜——「靖国」の思想を問う』錦正社、2013年
「冥王星と宇宙葬」『共存学3——復興・地域の創生リスク世界のゆくえ』弘文堂、2015年

塩谷 昌之（しおや まさゆき）

第9章

①東京大学大学院人文社会系研究科博士後期課程

- ②「鉄道趣味の地平線——趣味を捉える枠組みについての一考察」『現代風俗学研究』（15）、2014年
「工作記事は少年たちに何を語ってきたのか——戦前・戦中の『発明』に見る実用主義の精神」『趣味とジェンダー——〈手づくり〉と〈自作〉の近代』青弓社、2019年

松井 広志（まつい ひろし）

第10章

①愛知淑徳大学創造表現学部講師

- ③『模型のメディア論——時空間を媒介する「モノ」』青弓社、2017年
『ポスト情報メディア論』（共編著）ナカニシヤ出版、2018年
『多元化するゲーム文化と社会』（共編著）ニューゲームズオーダー、2019年

岡本 健（おかもと たけし）

第11章

①近畿大学総合社会学部准教授

- ②『ゾンビ学』人文書院、2017年
『アニメ聖地巡礼の観光社会学——コンテンツツーリズムのメディア・コミュニケーション分析』法律文化社、2018年
『巡礼ビジネス——ポップカルチャーが観光資産になる時代』KADOKAWA、2018年